

埼玉版スーパー・シティプロジェクト2026

# エネルギーの共同利用に向けた 当社の取り組み

2026年7月31日  
東京ガス株式会社 埼玉支社



# 目次

1. 東京ガスグループの紹介
2. エネルギーの面的融通事例紹介
3. 産業団地計画策定イメージ
4. 連携したい自治体像

# 1. 東京ガスグループの紹介

# 東京ガスグループの紹介

## 会社概要

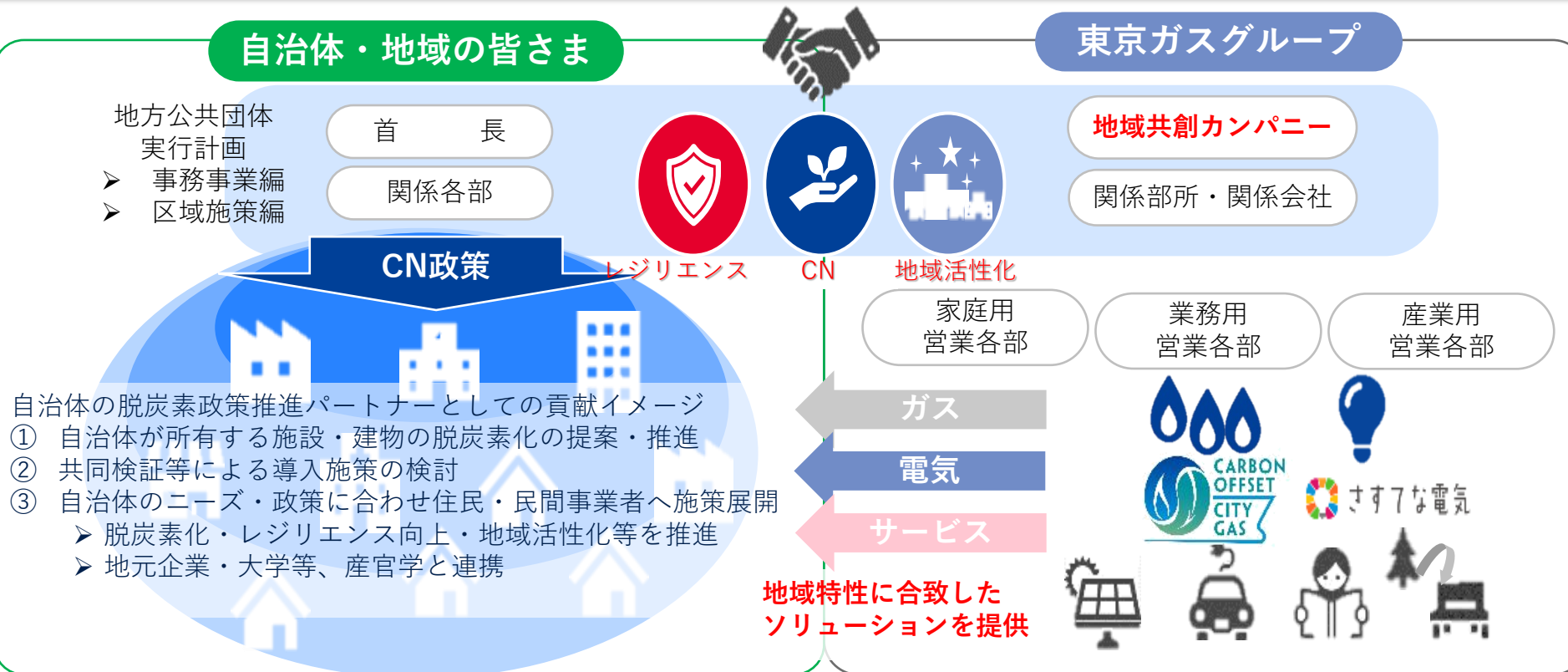
|          |                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名（商号）  | 東京ガス株式会社（東京瓦斯株式会社）                                                                                                                                                                                                                               |
| 本社所在地    | 東京都港区海岸1-5-20                                                                                                                                                                                                                                    |
| 創立       | 明治18（1885）年10月1日                                                                                                                                                                                                                                 |
| グループ事業内容 | <p><b>[エネルギー・ソリューション]</b><br/>都市ガスの製造および販売、LNG販売<br/>電気の製造・供給および販売<br/>エンジニアリングソリューション事業<br/>ガス器具、ガス工事、建設等</p> <p><b>[ネットワーク]</b><br/>ガス導管事業、都市ガス供給事業</p> <p><b>[海外]</b><br/>海外における上流事業、中下流事業等</p> <p><b>[都市ビジネス]</b><br/>不動産開発、土地・建物の賃貸・管理等</p> |
| 従業員数     | <p>[単体] 3,769名（2026年3月31日現在）<br/>[連結] 16,001名（2026年3月31日現在）<br/>※従業員数は常勤の就業員数であり、受入出向者を含み、出向者および臨時従業員を含みません。</p>                                                                                                                                 |
| 売上高（連結）  | 28,347億円（2025年度）                                                                                                                                                                                                                                 |



東京ガスの創設者  
渋沢栄一

# 東京ガスグループの紹介

- 東京ガスグループはお客さまと向き合い、機動的な意思決定を実現すべくホールディングス型グループ体制に移行しました。
- 地域の課題解決を推進する社内組織として地域共創カンパニーを2023年10月に発足しました。
- **2050年ネット・ゼロ達成に向けた脱炭素政策推進パートナー**として、自治体に対しカーボンニュートラルな町づくりに関する地域特性に合致した**ソリューション**を提供し、自治体が所有する建物・施設の脱炭素化に加え、**地域の住民の皆さまや事業者**の脱炭素化にも貢献し、**地域脱炭素**を推進しています。
- これまでに**97の自治体**とカーボンニュートラルな町づくりに関する**包括連携協定**を締結しています。
- これからも自治体のニーズ、地域課題に合わせて、**ソリューション**を拡充し、**事業モデルを進化**させていきます。



## 埼玉県内での 包括連携自治体数

### 自治体×TG：8件

熊谷市、埼玉県企業局、  
草加市、八潮市、戸田市、  
三郷市、和光市、蕨市

### 自治体×卸ガス会社×TG： 10件

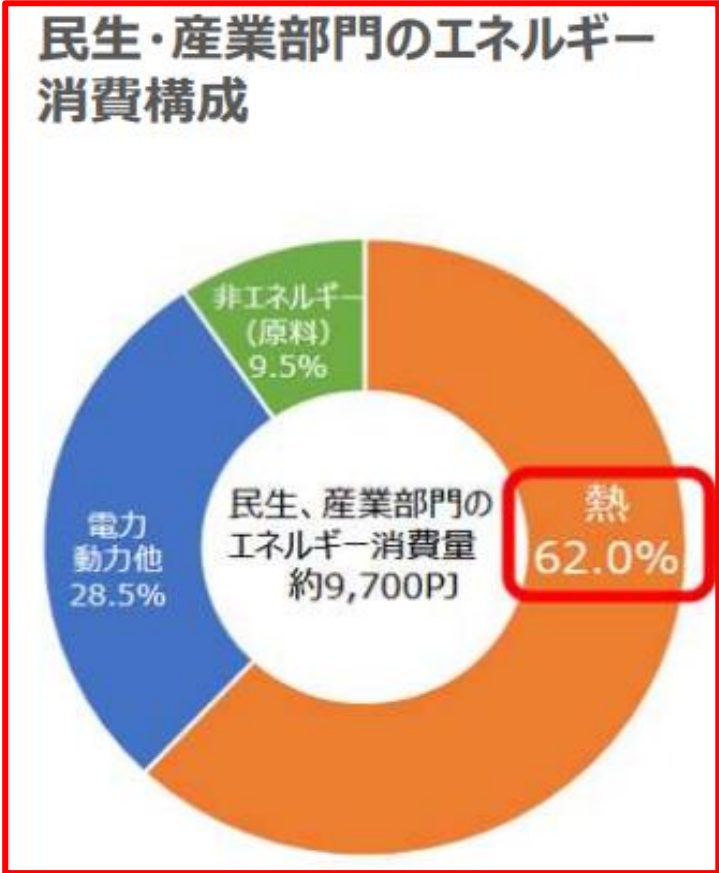
三芳市、所沢市、日高市、  
狭山市、川越市、飯能市、  
鶴ヶ島市、坂戸市、富士見市、  
志木市

# 東京ガスのカーボンニュートラルロードマップ2050

- 日本政府が2020年10月に発表した「2050年カーボンニュートラル（ネットゼロ）」宣言に先駆けて、当社は2019年11月に公表したグループ経営ビジョン『Compass2030』において『CO2ネット・ゼロ』を表明しました。
- 20年代はこれまでに推進してきた天然ガスの高度利用と並行し、ガス・電力の脱炭素化の準備を進め、30年代は脱炭素化技術を実装・拡大して、2040年時点でCO2排出量を6割減、ガス・電気共にCN化率5割を、その後比率を高め、2050年カーボンニュートラルの実現をめざします。

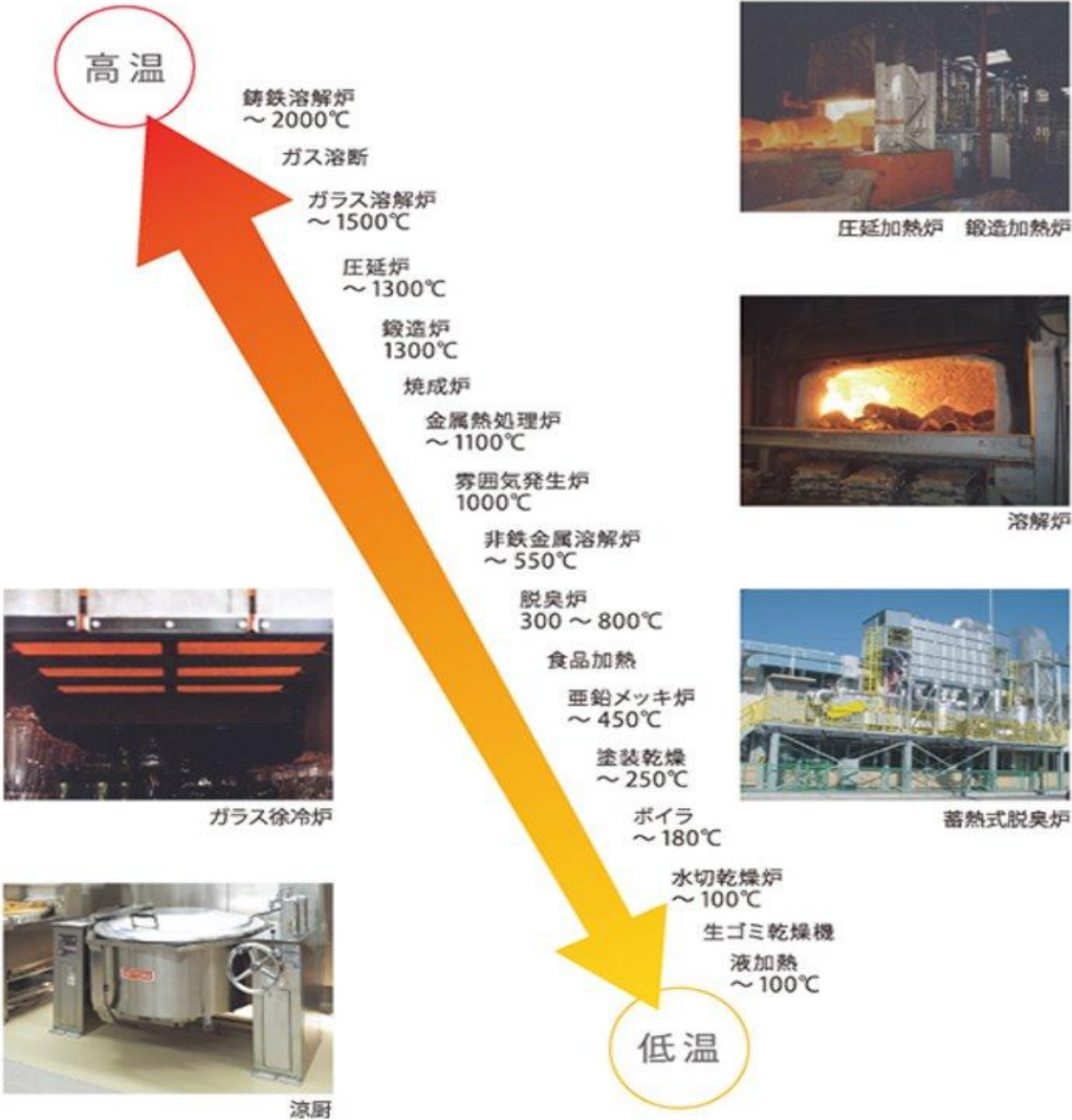


# 熱需要のカーボンニュートラル化の重要性



出典：2020年エネルギー配所を基に日本ガス協会作成

民生・産業部門におけるエネルギー消費の約6割を『熱』が占めています。  
熱をエリア全体で無駄なくシェアすることが重要になります。



出典：東京ガスエンジニアリングソリューションズ HPより

## ■エネルギーの共同利用について

### 企業誘致戦略【誘致手法】

一部新 **新たな誘致・フォローアップ手法**による成長産業へのアプローチ

① 呼び込み

**新** 市町村と一体となった  
誘致活動の強化  
(意欲があり、具体的なビジョンを持つ  
市町村との連携、**ワーキングチーム**  
の設置による円滑な情報共有)

● **企業立地セミナー**  
(ハイブリッド方式による全国的な  
企業アプローチ)



埼玉県企業立地セミナーin東京

② 成長後押し

● 立地企業の持続可能な**成長支援**  
(企業訪問のフォローアップによる課題解決、  
関係機関との連携、交流会の開催等)

**新** **企業のエネルギー効率的利用  
に向けた取組支援**  
(エネルギー共同利用に関する情報収集、  
企業・工業団地等への情報提供等)

出典：R7年4月30日 埼玉県知事記者会見資料より

## ■埼玉県の重点的誘致対象分野

①モビリティ、②食料品製造、③医療・医薬品・化粧品、④アグリテック・フードテック、  
⑤ロボット・DX産業、⑥GX産業 ⇒ **熱利用比率の高い業種が多い**

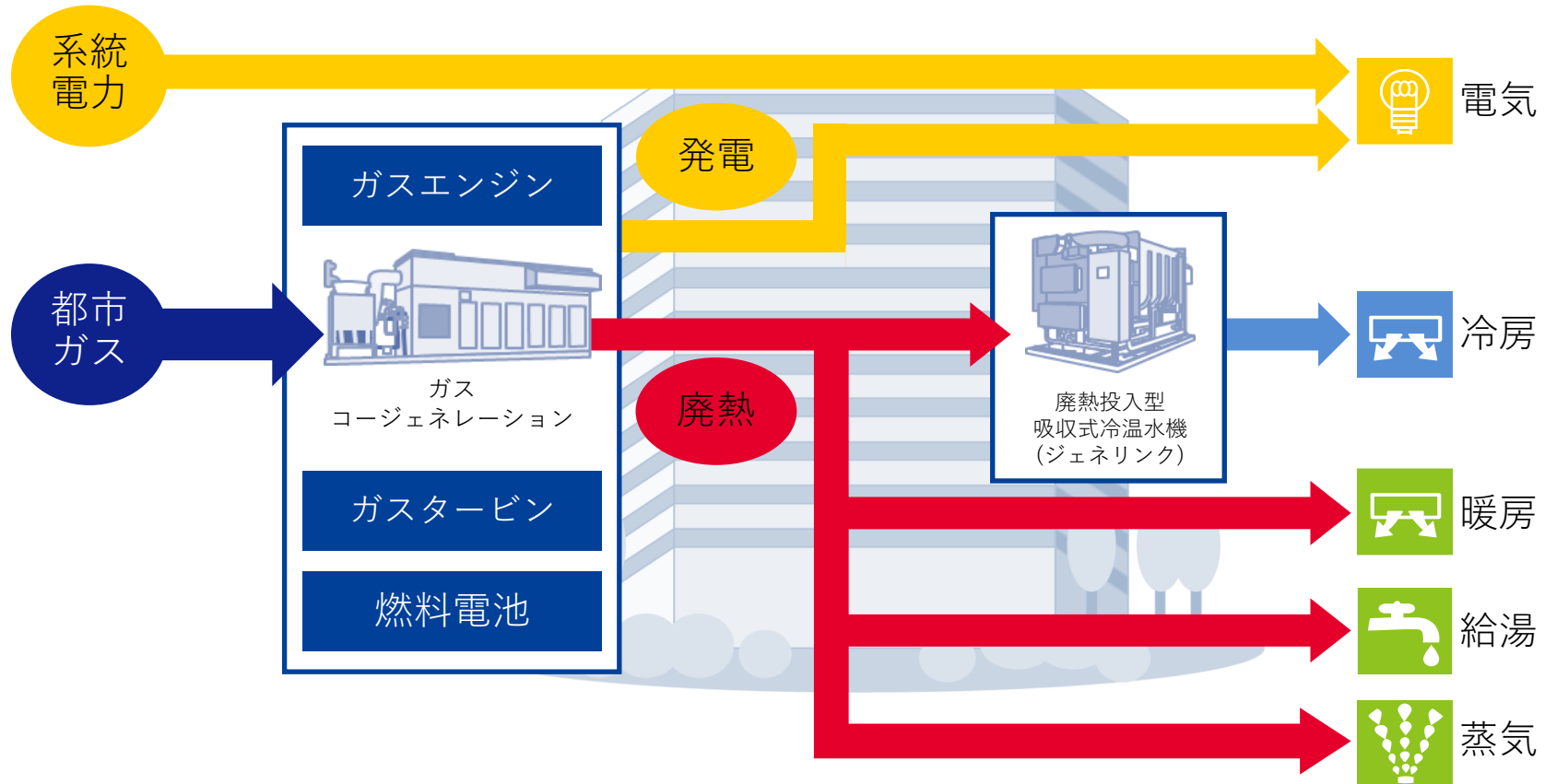
出典：R8年4月改定 埼玉県企業誘致戦略より

## 2. エネルギーの面的融通事例紹介

# コージェネレーションシステム（CGS）とは

- CGSは、電気を使用する場所で都市ガスを用いて発電するためレジリエンス性の高い分散型発電設備です。
- 発電と同時に発生する廃熱を冷房・暖房・給湯などにムダなく利用することができる省エネルギーシステムです。

発電した電気は系統電源と合わせて連携し、建物内に供給されます



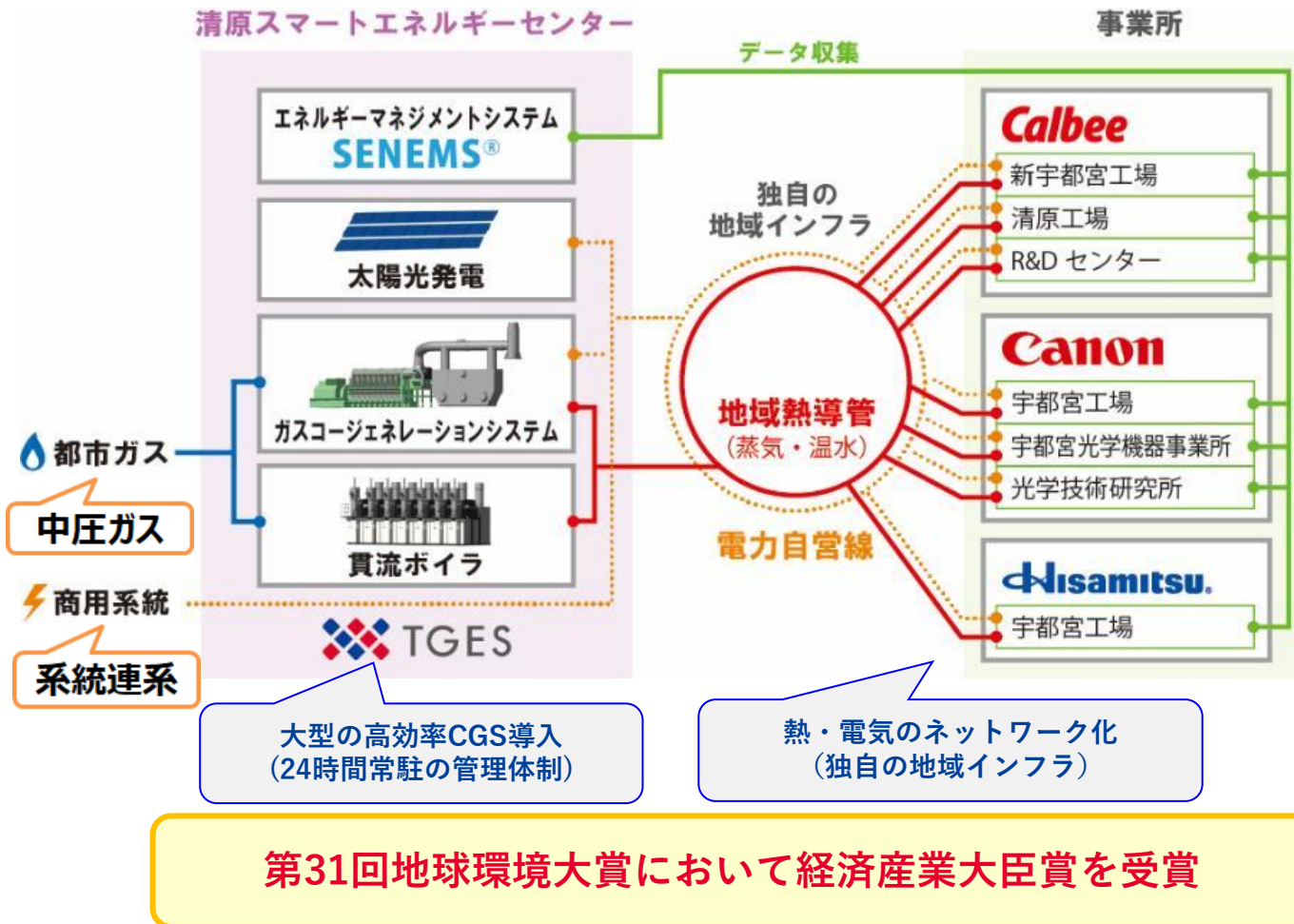
# 【事例 1】エネルギーの面的融通（宇都宮市）

- 日本初の工場間一体省エネルギー事業です。
- 内陸型工業団地内の複数事業所間で電力と熱（蒸気・温水）を共同利用するスマートエネルギーネットワークを構築し、環境性および地域防災性向上を実現しています。



約35MW

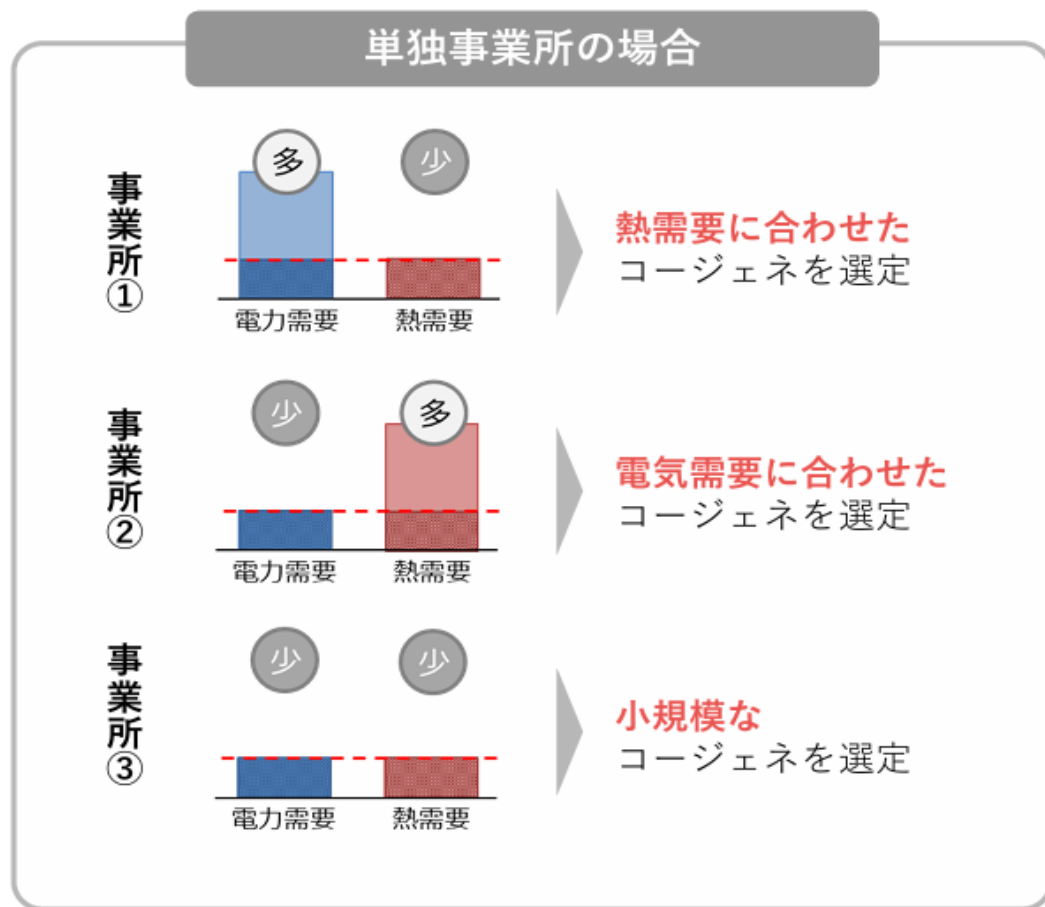
ガスエンジン  
5,770kW × 6基



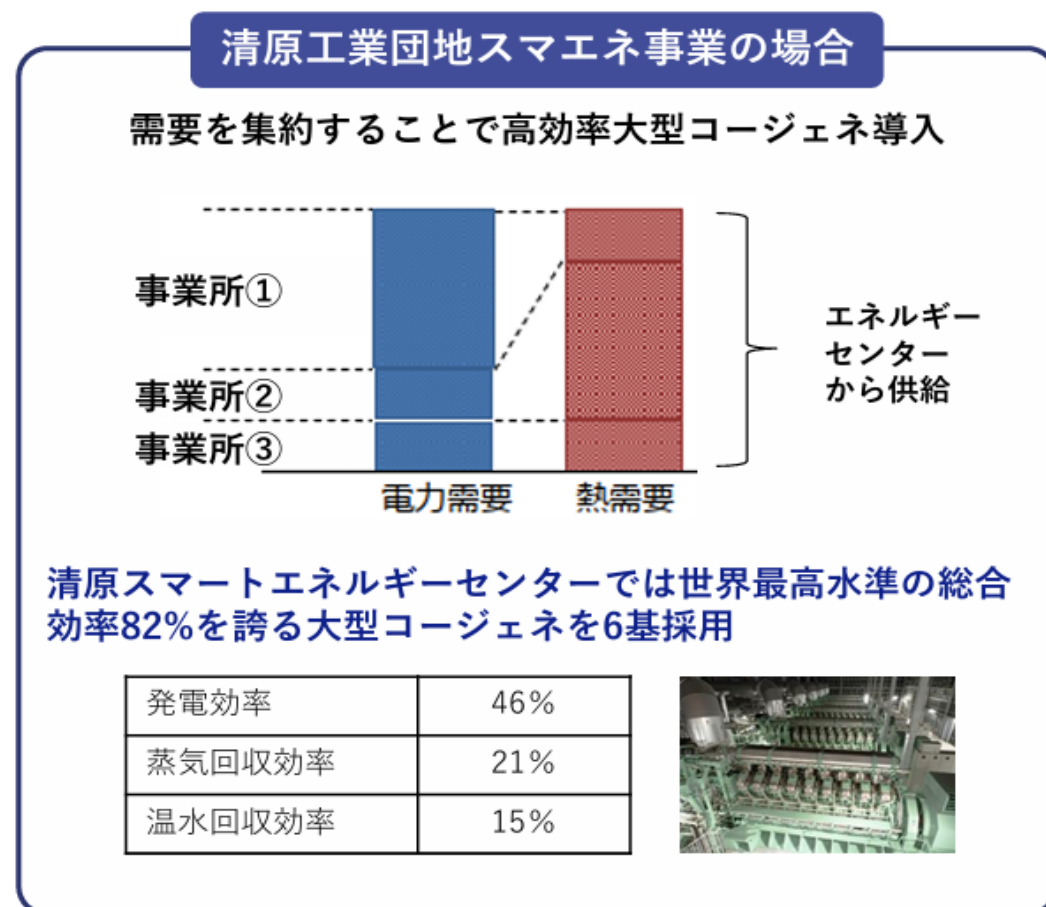
出典：東京ガスエンジニアリングソリューションズ HPより

# 【事例 1】エネルギーの面的融通（宇都宮市）

## 需要集約によるコージェネ導入効果の最大化



集約



異なる業種のエネルギー需要を集約することで  
廃熱を効率よく利用できるとともに、負荷変動の影響を最小化

出典：東京ガスエンジニアリングソリューションズ 提供資料より

# 【事例1】エネルギーの面的融通（宇都宮市）

## 業種を超えた事業者間連携

**Calbee**

- ・ 新宇都宮工場
- ・ 清原工場
- ・ R&Dセンター

**Canon**

- ・ 宇都宮工場
- ・ 宇都宮光学機器事業所
- ・ 光学技術研究所

**Hisamitsu**

- ・ 宇都宮工場



**TGES**

- ・ 約半世紀における地域冷暖房事業で培った建設・運用実績を基礎に信頼性の高いエネルギーセンターを実現
- ・ エネルギーマネジメントを担う事業者として複数事業者間をコーディネート（**共通理念を掲げて実現**）

### 政府（経済産業省、総務省）

- ・ 自治体主導の省エネルギー事業モデル提案の促進
- ・ エネルギー使用合理化補助金工場間一体省エネルギー事業
- ・ **連携省エネルギー計画の認定制度**

### 栃木県

- ・ **とちぎエネルギー戦略の策定**  
分散型エネルギーによる災害に強い地域づくり
- ・ マスタープラン策定
- ・ **エネルギー産業立地促進助成金**

### 宇都宮市

- ・ 自然と調和したコンパクトな地域づくりにおける**地域拠点**や**農業拠点**におけるエネルギーの相互利用の推進
- ・ 道路占用の調整協議

政府・自治体の協力を得て、業種を超えた事業者連携により実現

出典：東京ガスエンジニアリングソリューションズ 提供資料より

## 【事例 2】エネルギーの面的融通（横浜市）

- 2工場間で連携した事例（日産自動車とJ-オイルミルズ）
- 電力需要の多い事業所と熱需要の多い事業者が連携し、大型ガスエンジンCGSを導入したことで省エネおよび省CO<sub>2</sub>を実現しました。

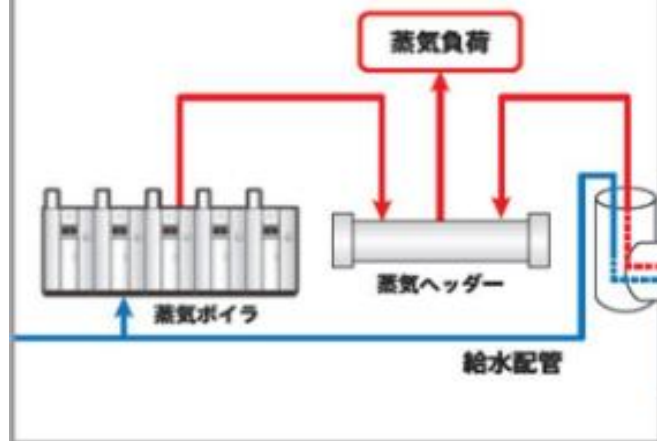
コージェネ導入により  
期待される効果

省エネ率  
約3%  
(原油換算1,400kl/年)

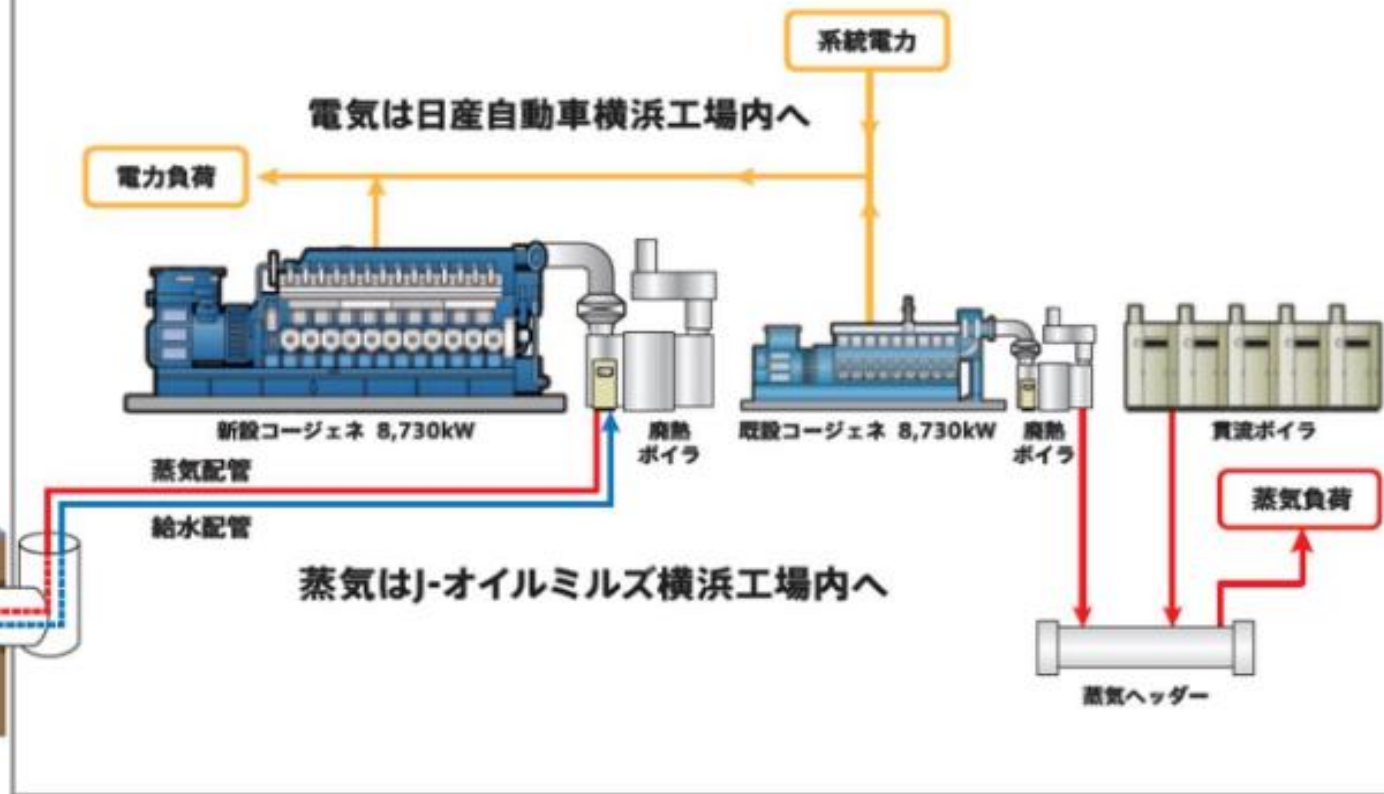
CO<sub>2</sub>削減率  
約6%  
(5,700t-CO<sub>2</sub>/年)

※2工場全体

J-オイルミルズ 横浜工場



日産自動車 横浜工場



出典：東京ガスエンジニアリングソリューションズ HPより

### 3. 産業団地計画策定イメージ

# 産業団地計画策定イメージ

▼ エネルギーの効率的利用に向けた産業団地構想の初期段階から協働します ▼

N-（3～10）年                      N-3年                      N-2年                      N-1年                      N年                      N+（2～3）年



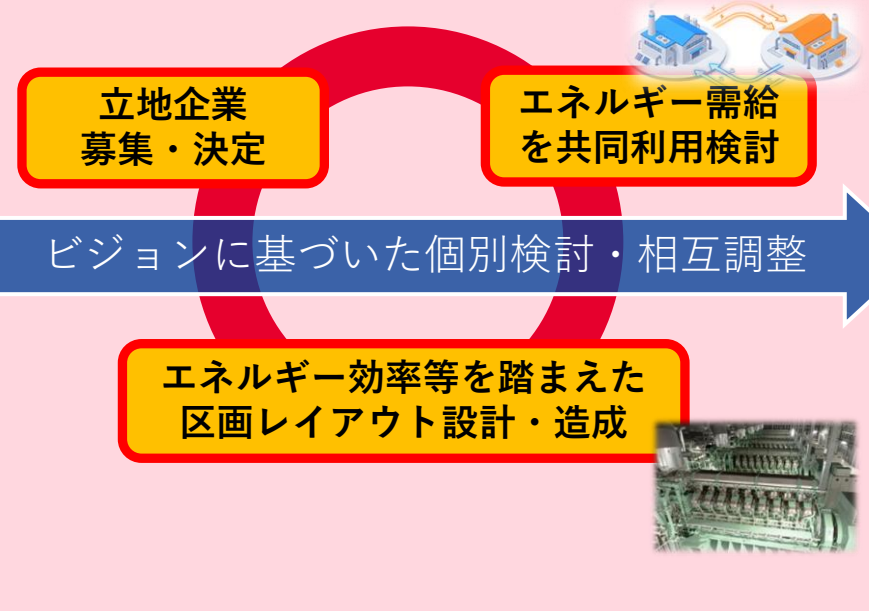
当社の考える  
協働スタイル

N-（3～10）年

基本構想  
（ビジョン）策定

N-X年

立地企業を含む官民連携で省エネ・省力化・  
レジリエンス等、産業団地の高付加価値実現



自治体に求める協力内容：産業団地、未利用地の情報、エネルギー関連データの提供

※本スライドの一部にはAIを活用しています

## 4. 連携したい自治体像

# 連携したい自治体像

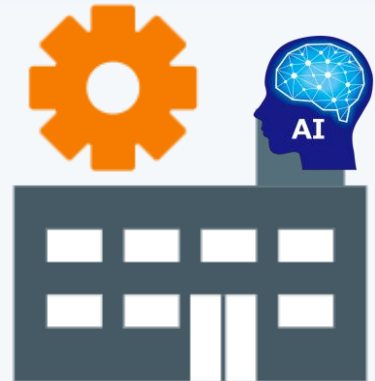
## 新たに造成構想がある自治体（新規の産業団地）



製造業

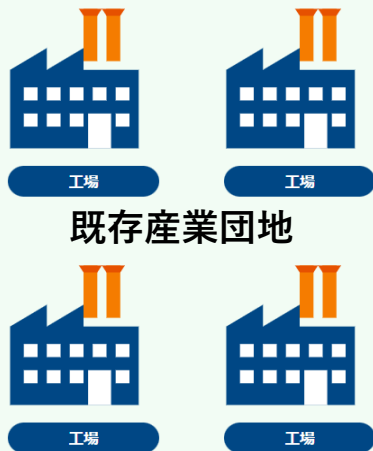


自動倉庫



データセンター

## 既存産業団地の拡張構想がある自治体（拡張型の産業団地）



既存産業団地

エネルギー融通



拡張型産業団地



産業団地周囲の  
エネルギー需給

※本スライドの一部にはAIを活用しています

